

# 会報

No. 101

令和元(2019)年9月15日

[https://www.library.pref.kyoto.jp/?page\\_id=28](https://www.library.pref.kyoto.jp/?page_id=28)

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町

京都府立図書館内

TEL (075) 762-4655

## <目次>

1面

・なぜ動物園に図書館があるか  
～夜の図書館カフェDEトークに  
参加しませんか～  
(京都市動物園)

2面/3面

・綾部市図書館☆  
「脳イキイキ!音読の会」は大人気!  
(綾部市図書館)  
・近年の宇治市図書館の取組  
(宇治市中央図書館)

4面

・京都府図書館等連絡協議会事業  
・研修予定



## なぜ動物園に 図書館があるか

夜の図書館カフェDEトークに

参加しませんか?

京都市動物園 園長 片山 博昭

京都市動物園の正面エントランスの建物に入るとすぐ左手、動物園の「図書館カフェ」が目に入ることでしょう。そこは動物園の改札の手前、動物園の入園券がなくても利用できる場所です。平成二十一年から始まった京都市動物園の全面リニューアル工事の中で、図書館のり

リニューアルは目玉のひとつでした。明るく、たくさんの人に利用してもらえる場所に生まれ変わらせたのです。

図書館にはカフェカウンターがあり、飲み物と軽食が図書館内で楽しめます。図書館に入ると、木のぬくもりの感じられる本棚の他に、フロアには企画棚を設けています。最近では、京都市全体で取り組むSDGsについて絵本で学べる棚や、生物多様性に関連した本を集めた棚を作りました。動物園を自然への窓として、利用される方の世界を広げていただきたいと思います。

京都市動物園の図書館には、ギャラリーとしての機能ももたせています。一階の壁面から二階へ上がる階段、そして二階の展示スペースでは、園内の企画と連動させた動物園の動物たちや野生動物の写真などを掲示しています。京都市動物園は京都大学野生動物研究センターと平成二十年から連携して教育や研究を進めており、こういった企画でも、アジアやアフリカ、南米などで調査を行う研究者たちが撮影した野生動物の姿を見ることができるとのことです。美味しいコーヒーを飲みながら動物写真を眺めるのも、この図書館の楽しみ方でしょう。

京都市動物園の図書館では、カフェトークも定期的に行っています。名付けて「夜の図書館カフェDEトーク」。毎月一回、基本的には第四日曜日の閉園後の時間を利用して開催しています。平成二十七年十二月に始めて、三年半続けて

います。定員は二十人。講演会とは違って、誰もが気軽に発言できる場を目指しました。話題提供者には、動物園の職員

の他に、外部の野生動物研究者などに来ていただいています。ときには哲学者や芸術家のグループまで、テーマは多岐にわたります。この企画を運営しているのは、京都市動物園の研究と教育を統括する、生き物・学び・研究センターです。センター長以下非常勤嘱託員まで含めた五人のスタッフ全員が博士學位をもつ研究者でもあり、彼ら研究者の無限の興味と研究者同士のネットワークを利用すると、講師として呼びたい方にたどり着くことができます。これまで話題提供をお願いした方は、この会の趣旨を説明すると喜んで来てくれました。すでに名前が売れている人よりも、この人の話をじかに聞いてみたいと思える人、というのが講師の選定基準ということで、動物園の外部からお呼びした人の多くは、今まさに動物の研究をしている人で、その人の研究の発想や、どんなところで研究をしているのか、さらにはフィールドでどんな生活をしているのか、といったことを話していただきました。

夜の図書館カフェDEトークを始めた頃には、思ったほど参加者が集まらないこともありました。それでも、参加すれば絶対に面白いこの企画を、動物園のホームページや公式Facebookで広報し、毎回の終了後には会の様子を伝えていくうちに、少しずつ人は集まりだ



し、三年目に入る頃には、毎回の定員が埋まるくらいになりました。月によって は早々に定員に達し、その後の申し込み者にお詫びしてお断りしなければいけないことも増えてきました。

夜の図書館カフェDEトークは、これから毎月一回、続ける予定です。企画を始めた頃の気持ちを忘れず、スタッフ が話を聞いてみたい人、お呼びしたら きつと楽しい話をしてくれる人をお招き して、少人数での気楽な雰囲気はそのま ま守っていきたいと思いますので、興味 を引く方、話題がありましたら、この稿 をお読みいただいたみなさんも気軽にこ 参加ください。お待ちしております。

綾部市図書館☆

「脳イキイキ音読の会」は

大人気!

綾部市図書館 館長 生駒 彩子

音読の会とは

昔話や詩などの本をみんなで声に出して読む会。専門的な知識も音読の技術も必要ありません。みんなで一緒に声に出すだけ。

何故、音読なのか？声に出して、本を読むだけで、脳の活性化に役立ちます。

「音読は脳の全身運動であり、脳機能を発達させ、脳機能の老化を防ぐことができるのです」(『脳と音読』川島隆太 著 達忠夫著／講談社より)

始めたきっかけは？

高齢者サロンからの出張お話会の依頼が多く、出張も大切ですが、高齢者の方にもっと図書館に来ていただき、直接本を手にとってほしい！何かないかと考えた末、誰もが気楽に参加でき、本に繋がる「音読の会」に結びつきました。高齢者サービスの先進的活動をされている鳥取県立図書館の職員を招き、養成講座を行いました。

具体的な内容は

- ・ 第四水曜日、午後二時十五分から三時十五分の一時間
- ・ 参加者は飲み物を用意
- ・ 定員は設けず毎回事前申し込み(人数

は十人前後がベスト。いつも十八人程の参加)

- ・ 作品は四から五作品

流れは、①図書館員による絵本の読み聞かせ(聴き、ページをめくり、絵を楽しむことを味わってもらおう。)②手遊び(懐かしい童謡や、わらべ歌で、体の緊張をほぐす。)③詩などの音読(徐々に声を出す。)④休憩(水分補給やトイレ休憩でリラクセス。参加者同士の会話も楽しいひととき)⑤長い文章の音読(しっかり声に出す。

この頃になると、体も温まり、しっかりと声を出せる。)⑥感想・リクエストや次回参加希望を聞く。そして、心も体もポッカポカ、笑顔でお別れ!

- ・ 担当は二名。一名は進行、もう一名は絵本の読み聞かせと参加者の見守り。高齢者が多いので、体調の異変やページを間違えていないかななどのサポート。不安や緊張をほぐしてあげること

準備としては……

作品を決め、本の場合は人数分の手配、プリントの場合は著作権に注意。内容は、季節を意識したもの。事前に声に出して読んで、かかる時間や読みづらいい所の確認。タイムスケジュールを作成。作品への鋭い質問も出るので、事前勉強。もちろん練習も！途中から読む本もあるの、コメント付自作葉をはさむ。高齢者の負担軽減のためにマイクと忘れた方用にお茶の用意。



参加者の様子……

参加者のほとんどは女性で、六十代から九十代と幅広く、たまに男性や親子連れ、小学生の参加も。参加理由は、普段の生活で会話がなく声をだすことが少ないとか、サークルに参加してみたいなど。初めのうちはとても不安げでした。ちゃんと声が出るかな？みんなについていけるかな？など！そのため、挿絵を楽しむ余裕もなく先にページをめくってみたり、音読を楽しめる状況ではありませんでした。が、会を重ねることに緊

綾部市図書館

「脳イキイキ音読の会」プログラム

日時	毎月4水曜日 午後2時15分～3時
会場	綾部市図書館2階
参加費	無料

申し込み

お問い合わせ



張もとけ、交流も始まりました。何より参加者の雰囲気がとても明るくなり、イキイキと若返られました。  
参加者の声は

- ・職員が高齢者の自分たちにも向き合ってくれるのが嬉しい。
- ・戦争で勉強できなかったので、古典など知れて嬉しいし、学生時代のように楽しい。
- ・一人暮らしで声を出して話す機会が少ないのでありがたい。
- ・音読で読んだ本に出てきた知識で生活が豊かになった。
- ・絵本がこんなに楽しいものだと思わなかった。

・音読の日は張り合いがある。  
・音読の会で読んだ本を借りて再読するのが楽しみ。などなど……

**予想しなかったこと**

古典などはプリントで音読をしてみましたが、反応が悪く、本を使うことが大切だとわかりました。本の感触、ページをめくること、五感すべてを働かすことが大切。また、本のあとがきから、参加者同士の会話が弾むことも。ただ、参加者の人数分冊数を集めることは、相互貸借において貴館のご協力があつてこそだと感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。季節を意識した内容となっているため、皆様にご迷惑をおかけしていることもしばしば、どうかお許しください。

**反省点**

- ・本を読むだけと思っていましたが、一冊の本に向き合う参加者の姿勢に、事前勉強が大切だと痛感しました。
- ・絵本や手遊びについては、子どももつまらないように。
- ・高齢者の方の自尊心を傷つけないよう配慮が大切です。

**最後に**

音読の会を始めて、今年で三年目です。参加者の方がいつまでも楽しみにしていたような内容にしていきたいと考えております。今後もご協力よろしくお願ひします。

※プログラム・タイムスケジュール表・

当日の風景(DVD)あります！

## 近年の 宇治市図書館の取組

宇治市中央図書館 志賀 清泰

宇治市図書館では利用者数・貸出冊数を増やすための対策として、図書館の認知度向上を目的に、あらゆる年齢層を対象とした事業を行っています。今回はその内のいくつかの事業を紹介します。

**【初めての手話教室】**

平成二十九年十二月に「宇治市手話言語条例」が制定されたことをうけて、平成三十年から「初めての手話教室」を障害福祉課と共催して実施しています。指文字で自分の名前を表現するなどのワークシヨップ、手話通訳つきの三匹の子ぶたの読み聞かせ、手話で歌うとなりのトロロの「さんぽ」などの内容で、子どもから高齢者まで参加できるイベントです。もつと学びたい人のために、今後も続けていく予定です。

**【夜の図書館見学】**

十八歳以上を対象として、閉館後に「オ・ト・ナのための図書館見学」を実施しています。小学生の社会科学見学と同じく、図書館の利用方法や資料の探し方などを説明した後、書庫の見学などを含めた館内ツアーを実施しています。特に普段入ることのできない書庫の見学などが好評です。



**【図書館のハロウィンウィーク】**

春はさくら、梅雨時はアジサイなど季節に応じた館内ディスプレイに工夫を凝らしています。なかでも十月はハロウィンのディスプレイを展開するとともにカウンターやフロアワークの職員が仮装を行います。特に最終週の土日は、魔女や人気キャラクターなどの本格的な仮装を行い、利用者が仮装して写真を撮るための仮装道具と撮影スポットの提供などを行いました。

怖すぎる仮装や、業務に支障をきたす仮装はできないものの、各職員が創意工夫することにより、利用者を楽しんでいたいています。

**【出張おはなし会】**

平成二十五年度から、出張おはなし会

を実施しています。市が連携協力協定を結んでいる京都文教大学の子育て支援室などの児童施設や高齢者施設・障害者福祉施設など三図書館で六年間に約五十回の出張おはなし会を開催しました。

高齢者施設での演目の選定は、対象者がお元気な方か、認知症があるかどうかといったことよって、児童向けのおはなし会とは資料の選び方が異なることが多く、高齢者向け紙芝居や民話や落語の絵本・紙芝居などを主に選んでいます。描線のしっかりした大きな絵の絵本や紙芝居の方が向いているようです。

また、聞かえが悪くなっている方が多いため、二十人程度の会場であってもマイクが必要となります。会場のマイクはほとんどが手持ちタイプのため、横でマイクを持つ助手が必要なことなど子ども向けのおはなし会とはちがった工夫が必要になることもあります。

普段、図書館への来館が難しい方に本の楽しさを知ってもらう機会となつていきます。

【多言語のおはなし会】

異文化交流事業として、未就学児く小学生を対象とした多言語のおはなし会を開催しています。

平成二十六年に東宇治図書館でAET（英語指導助手）の先生を招いて開催したのを始めに、リオ五輪の開催年であった平成二十八年は京都府名誉友好大使によるブラジル（ポルトガル語）のおはなし会、平成二十九年は、外国人技能実習

生によるベトナム語のおはなし会を、平成三十年はアメリカ・イギリス・カナダ出身のAETによる英語のおはなし会をそれぞれ開催しました。令和元年は前年と同じく英語のおはなし会を八月に開催しました。

日本語と各言語での同じ絵本の読み聞かせや、それぞれの国に伝わる民話・昔話、日本語と外国語で同じ歌の歌いくらべなどのおはなし会の内容に加えて、じゃんけんの仕方や民族衣装、食事や普段使っている道具、風景や文化を紹介します。また、同じ英語圏でもアメリカ・イギリス・カナダそれぞれの国の言葉や習慣の違いなど、他の国の文化を学ぶ機会を提供しています。

当日は、質疑応答のコーナーも盛り上がり、子ども達は他の国々の文化に興味津々の様子でした。

参加者数は、英語教育の義務化などで関心の高いと思われる英語のおはなし会開催時が最も多く、入場制限を行わなかった平成三十年は、会場のキャパシティが五十人の所に八十人を超える参加希望者が来られたため、入場をお断りせざるを得ませんでした。

こうしたイベントを図書館だけで行うのではなく、他部署や、関係団体と連携・協力し広報活動を行うことよって、図書館を利用したことがない方々にも図書館を知ってもらうきっかけになりました。

また、小さなイベントであっても実施

前に報道機関への報道連絡を行い図書館独自のFacebookや登録者が三千五百人を超える「宇治市子育て支援情報 公式LINE」などのSNSを活用して広報に力を入れた結果、記事を見た方からのアプローチにより新たなイベントを開催することや、市民や本庁の職員などから、「図書館は最近いろいろ頑張っているな」といった言葉をかけられることが多くなりました。

令和元年度

京都府図書館等連絡協議会事業

四月十日（水）

第一回理事会（府立図書館）

四月二十四日（水）

定期総会

功労者表彰（府立図書館）

六月七日（金）

第一回相互協力委員会

六月十二日（水）

第一回広報委員会

六月十三日（木）

第一回研修研究委員会

八月二十九日（木）

第一回京都図書館大会実行委員会（京都府立図書館）

II 会報をホームページに掲載II

第一号を、京都府図書館等連絡協議会のホームページ（URLは一面参照）に全文掲載しています。御利用ください。

令和元年度京図連協研修予定

【京図連協主催の研修】

■北部 十一月十五日（金）

テーマ「高齢者・障がい者への配慮と対策」

場所 宮津市福祉・教育総合プラザ

講師 小川敬之氏（京都橋大学教授）

■中部 九月十九日（木）

テーマ「ワコールスタディホール京都」

～企業が提供する学びのサービス～

場所 ワコールスタディホール京都

講師 徳持隆二郎氏

（株式会社ワコール総合企画室）

ワコールスタディホール京都

■南部 十二月上旬

テーマ「児童虐待と図書館」

場所 向日市立図書館

講師 未定

【その他の研修】

■第二十八回京都図書館大会

テーマ「災害と図書館（予定）」

日程 十二月二日（月）

場所 市民交流プラザふくちやま

■図書館地区別研修（近畿地区）

テーマ「これからの図書館サービス（予定）」

日程 令和二年一月二十八日（火）

場所 京都市勤業会館みやこめっせ

～三十一日（金）